

計画の名称	徳島文化芸術ホール（仮称）整備計画（重点計画）												
計画の期間	令和04年度～令和08年度（5年間）										重点配分対象の該当	○	
交付対象	徳島県, 徳島市												
計画の目標	徳島文化芸術ホール（仮称）整備地区は、徳島市の中心市街地の一角を占めており、江戸時代には四国一の都にふさわしい街が形成されていたが、社会情勢の変化に伴う都市部への人口流出等により空洞化が進んでおり、徳島市中心市街活性基本計画では、既成市街地である徳島駅前地区の再生とともに、まちづくりの新たな核として位置付けている。このため、徳島県と徳島市が協同し、暮らし・にぎわい再生事業の都市機能まちなか立地支援等により、県都のランドマーク、文化芸術の創造・発信拠点となる「徳島文化芸術ホール（仮称）」を本地区に整備し、既成市街地との連動によるまちづくりを通じて、賑わいの創出による県全体の活力の向上を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	21,620	A	21,620	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R4	R6	R8
1	中心市街地におけるランドマーク施設来館者数2,974千人（R4）から3,741千人（R8）に増加（767千人（26%）の増加） 中心市街地のランドマーク施設来館者数を調査する（徳島文化芸術ホール（仮称） アミコビル 阿波おどり会館）	2974千人	千人	3741千人
2	中心市街地におけるまちなか歩行者通行量18,686人（R4）から20,807人（R8）に増加（2,121人（11%）の増加） 中心市街地の19地点における歩行者通行量の平日・休日平均をビッグデータにより取得する（ポッポ街 元町西側 元町東側 新町橋西側 西新町商店街 新町橋南東側 東新町1丁目 東新町2丁目西側 東新町2丁目東側 籠屋町アーケード 銀座商店街 両国本町西側 両国本町東側 一番町南側 一番町北側 両国橋南商店街西側 両国橋南商店街東側 徳島駅東側 徳島市役所前）	18686人	人	20807人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R04	R05	R06	R07	R08				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
市街地整備事業	A13-001	市街地	一般	徳島県	直接	徳島県	-	-	徳島文化芸術ホール(仮称)整備地区暮らし・にぎわい再生事業	都市機能まちなか立地支援等 約1.9ha	徳島県						20,543	1.05	-	
	A13-002	市街地	一般	徳島市	直接	徳島市	-	-	徳島文化芸術ホール(仮称)整備地区暮らし・にぎわい再生事業	都市機能まちなか立地支援 約1.9ha	徳島市						1,077	1.05	-	
											小計							21,620		
											合計							21,620		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R04	R05	R06		
配分額 (a)	276	508	0		
計画別流用増 減額 (b)	49	508	0		
交付額 (c=a+b)	325	0	0		
前年度からの繰越額 (d)	0	81	0		
支払済額 (e)	63	81	0		
翌年度繰越額 (f)	81	0	0		
うち未契約繰越額(g)	0	0	0		
不用額 (h = c+d-e-f)	181	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	55.69	0	0		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	事業計画の再検討に不測の日数を要したため。				